

# 【教育庁】ハラスメントに関する調査について（概要）

## （１）学校現場におけるハラスメントに関する実態調査（調査期間：R8.2.16～2.27、対象者数：約8,500名）

○回答者数 5,968名（回答率70%）

①学校現場におけるハラスメント被害の実態把握 ※調査の回答数であり、事実認定した数値ではない

【被害の状況】・現在ハラスメントに悩んでいる方は**245名**（調査対象者全体の2.9%）で、主に**パワーハラスメント**が多い。

・行為者としては**職場の同僚、管理職以上**の者が多い。

【被害の対応】・ハラスメントを受けた方のうち、**157名（64%）**の方が何らかの行動を取っている。

・その行動は**同僚や管理職への相談**が多く、それらの行動により**18%が改善**

【教委の調査】・教育委員会の調査を希望したのは**13名**。（個別に対応中）

②これまでの学校現場の組織文化における課題の把握

【過去の対応】・過去「**被害を受けたもしくは相談を受けた**」ことに対し行動を起こした方は全体の**19%**

・**同僚や管理職への相談**が多く、それらの行動により**51%が改善**

【職場の状況】・ハラスメントのあった職場の雰囲気は、「**悩み、意見を上司に伝えにくい**」「**勤務時間が長い**」「**管理職と職員間の会話が少ない**」傾向。

・現在は、**職場の雰囲気が「改善されている」「やや改善している**」との回答が**67%**

## （２）前知事のセクシュアルハラスメントに関する調査（調査期間、対象者数は（１）と同様）

○回答者数 5,779名（回答率67%） ※調査の回答数であり、事実認定したものではない

【被害の状況】・前知事からセクシュアルハラスメントを受けていたと回答した方は**0名**

「**相談を受けた、見た・聞いた**」と回答した方は**9名**

（9名の内容の内訳：相談を受けた 0名、見た・聞いた 8名、回答したくない 1名）

○今後の方針

- ・教育委員会による調査を希望した事案について、**被害者・加害者の双方に聴き取り**を実施
- ・「**県教委による相談窓口**」および「**教育委員会を bypass しない第三者相談窓口**」の周知徹底
- ・「**ハラスメント実態調査**」を定期的実施
- ・**全教職員を対象とした人権意識を高めるハラスメント防止研修**を実施
- ・引き続き、WEBアンケート等により、仕事のやりがいや相談のしやすさなどの実態把握に努め、「**風通しの良い職場づくり**」を目指す

# 学校現場におけるハラスメントに関する実態調査について（詳細）

## （1）学校現場におけるハラスメント被害の実態把握

### 被害の状況

- ・現在悩んでいる方は245名で、主にパワハラが多い
- ・行為者としては職場の同僚、管理職以上が多い

問1 現在、ハラスメントに悩んでいるか



問2 ハラスメントの種類（複数回答可）

パワハラ	206名
セクハラ	19名
マタハラ	3名
その他	39名 (不機嫌ハラスメント等)

問3 ハラスメント行為者の職級

同僚	94名
校長	54名
教頭	34名
回答したくない	38名

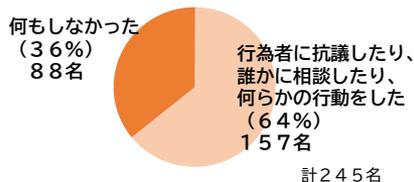
問4 行為者との関係（複数回答可）

職場の同僚	98名
職場の管理職	90名
職場の部下	25名
同じ職場ではないが業務上接点あり	7名
回答したくない	31名

### これまでの対応

- ・ハラスメントを受けた方のうち、157名が同僚や管理職に相談
- ・ただし、行動による変化は「何も変わらなかった」が最多

問5 ハラスメントを受けた時の対応



問6 どのような行動か（複数回答可）

同僚への相談	93名
管理職への報告・相談	81名
家族への相談	57名
行為者に直接抗議した	30名
相談窓口などに相談した	10名
回答したくない	13名

問7 行動で何か変化は

何も変わらなかった	93名
問題は一時的に改善された	27名
問題はむしろ悪化した	4名
問題は完全に解決した	1名
回答したくない	12名
その他	20名
計	157名

問8 何もしなかった理由（複数回答可）

何をしても解決しないと思った	45名
管理職が行為者だったから	38名
職務上不利益が生じると思った	35名
職場の人間関係が悪くなると思った	28名
行為がエスカレートすると思った	18名
何らかの行動をするほどでもなかった	15名

### 教委の調査

- ・調査希望13名。(個別に対応中)
- ・希望しない理由は「改善しない」「報復」「不利益になる」

問9 教育委員会による調査を希望するか



問10 希望しない理由（複数回答可）

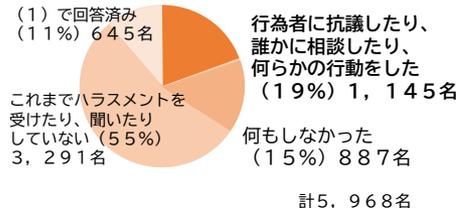
調査しても改善しないと感じる	116名
行為者を刺激し報復されないか心配	102名
自身に不利益が生じないか心配	97名
相談内容を詳しく話すことに負担感あり	62名
自身のプライバシーを守りたいと感じた	55名
調査への協力が煩わしいため	34名

## （2）これまでの学校現場の組織文化における課題の把握

### これまでの対応

- ・過去、ハラスメントについて行動を起こした方は全体の19%
- ・同僚や管理職への相談が多く、それらの行動により約51%が改善

問11 これまでどのように対応したか



問12 どのような行動か（複数回答可）

同僚への相談	705名
管理職への報告・相談	606名
家族への相談	292名
行為者に直接抗議した	263名
相談窓口などに相談した	47名
回答したくない	21名

問13 行動で何か変化は

何も変わらなかった	419名
問題は一時的に改善された	366名
問題は完全に解決した	223名
問題はむしろ悪化した	32名
回答したくない	38名
その他	67名
計	1,145名

問14 何もしなかった理由（複数回答可）

管理職が行為者だったから	319名
何をしても解決しないと思った	316名
職場の人間関係が悪くなると思った	239名
当時はハラスメントという認識無し	223名
職務上不利益が生じると思った	221名
行為がエスカレートすると思った	143名
ハラスメントを相談しにくい雰囲気	135名
何らかの行動をするほどでもなかった	131名

### 職場の雰囲気

- ・ハラスメントのあった職場は職員間の会話不足、勤務時間が長い
- ・現在は、職場の雰囲気が「改善」「やや改善」が全体の約67%

問15 当時の職場の雰囲気（複数回答可）

悩み、意見を上司に伝えにくい	761名
勤務時間が長い	571名
管理職と職員間の会話が少ない	510名
人手が不足している	496名
休暇を取得しづらい	361名
職員間でのからかいが日常的	342名
同僚同士の会話が少ない	253名
外部との交流が少ない	136名

問16 現在の職場との比較

改善されている	943名
やや改善されている	414名
変わらない	319名
やや悪化している	10名
悪化している	12名
相談を受けた立場のため不明	75名
現在の職場で被害がある	69名
回答したくない	84名
その他	106名
計	2,032名

問17 どのようなサポートがあると良かったか（複数回答可）

第三者相談窓口の設置	748名
行為者と被害者の引き離し	722名
全職員向けのハラスメント研修	534名
行為者の懲戒処分	437名
相談を受けた後の報告義務化	355名
行為者の更生プログラム実施	326名

問18 相談窓口を知っていたか

